監修　（公財）エイズ予防財団

いま知っておきたい

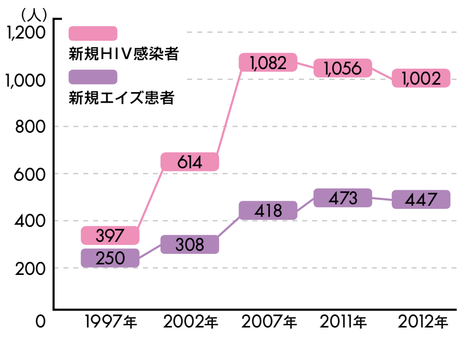
エイズのはてな??

エイズの知識はひと通りあるから大丈夫、
と思ってはいませんか?
でも、当たり前と思っていたことが、
じつは違っていた、ということがあるかも……。
そこで、あなたのエイズ知識をチェック!
正しい知識を身につけて、
しっかり予防しましょう。

Q1 エイズになる人、今では減っている?

エイズは予防できる病気なのに、10年前に比べると2012年の新規HIV感染者は約1.6倍に、新規エイズ患者は約1.5倍に増えています。また、新規HIV感染者は歴代6位、新規エイズ患者は歴代3位という多さでした。エイズは決して過去の病気でも、ひとごとでもなく、1人1人が自分のこととして注意しなくてはならない身近な病気なのです。

HIV・エイズ患者の推移



資料／厚生労働省エイズ動向委員会報告
「平成24年エイズ発生動向」

ANSWER

昨年の新規HIV感染者は、10年前の約1.6倍でした。

Q2 セックスの相手が1人だけなら安心?

セックスのパートナーが特定の1人だけでも、コンドームを正しく使って予防していなければ、HIV感染の可能性がゼロとはいえません。パートナーがあなた以外の人とセックスした経験があれば、その相手から感染して、あなたにうつしているかもしれないからです。コンドームを正しく使わないセックスの経験が1度でもある人は、HIV検査を受けましょう。

ANSWER

相手が1人でも感染の可能性があります。

Q3 HIV感染＝エイズではない?

HIV感染＝エイズではありません。HIVはエイズの原因となるウイルスで、エイズはHIVに感染することで引き起こされる病気の総称です。HIVに感染し、ニューモシスティス肺炎、活動性結核、カポジ肉腫など、エイズ発症の目安とされる23種類の病気のうちいずれかを発症すると、エイズと診断されます。

HIVに感染しても症状がすぐに出ることは少なく、数年は自覚症状がほとんどありません。その間にHIVが体内で増加して免疫力が低下し、その結果として健康な人なら防げるような感染症や悪性腫瘍などにかかりやすくなるのです。

ANSWER

HIVに感染しただけではエイズとは いいません。

HIVに感染してから エイズ発症までの道のり

★感染から発症まで数年かかる。
(ただし、進行が非常に早いケースもある)

- HIVに感染：一般に無症状だが、感染から数週間後、かぜに似た症状が出ることもある。
- 無症候期：自覚症状はほとんどないが、人にうつす感染力はある。
- エイズ発症：免疫機能が大幅に落ちて、さまざまな感染症や悪性腫瘍などにかかりやすくなる。

Q4 セックスで感染することが一番多い?

主な感染ルートは下記の3つで、最も多いのが性行為による感染です。HIVは感染者の血液や精液、膣分泌液などに含まれており、HIVが人の体内に入ることで感染します。そのため、感染者の体液が粘膜などに直接触れる機会のある性行為で感染することが多いのです。

ANSWER

セックスが9割以上を占めています。

性行為感染

HIV感染者とコンドームを正しく使わないセックスをすることで感染。

血液感染

麻薬の回しうちなど、注射針を共有することで感染。

母子感染

HIVに感染している母親から妊娠中や出産時、授乳時に感染。

Q5 握手や飲み物の回し飲みでもうつる?

HIVは体液内でしか生息できないウイルスなので、感染者と握手するなどのたんなる接触ではうつりません。また、唾液に含まれるHIVはごく微量のため、せきやくしゃみ、飲み物の回し飲みなどでも感染することはありません。

こんなこと、こんな場所では感染しない

- 握手、軽いキス
- 洋式トイレの便座
- せき、くしゃみ、汗、涙
- 風呂やプール
- つり革や手すり
- 同じ皿から料理を食べる。飲み物の回し飲み。
- 日本の医療機関、理髪店、美容院

注! ただし、血液がつきやすい歯ブラシ、カミソリ、ピアスなどは自分専用のものを使いましょう。

ANSWER

セックスを除けば、ふだんの生活で感染することはありません。

Q6 効果的な予防法は今でもコンドーム?

エイズの予防には、コンドームを正しく使ったセーファーセックス(より安全なセックス)が最も有効です。コンドームを正しく使わずにセックスやアナルセックス・オーラルセックス(肛門や口での行為)を行うと、感染する恐れがあるので注意しましょう。

セックスによる感染が9割以上を占めているだけに、ここでしっかり予防することがポイントになります。

ANSWER

コンドームを正しく使うことが最も有効です。

● **血液感染の予防**

※日本の医療機関の注射器は使い捨てなので、心配ありません。
※輸血に使われる血液は厳重な検査をしていますが、現在の技術では感染の可能性をゼロにはできません。

● **母子感染の予防**

※予防治療薬、帝王切開、人工栄養などの適切な対処をすることで、ほぼ感染を抑えられます。

★ ピルは避妊薬なので、感染の予防はできません。

Q7 特効薬が見つかり、完治する病気になった?

完治する特効薬はまだ開発されていませんが、早期に多剤併用療法を始めることで、発症を大幅に遅らせることができます。また、定期的に治療を続けることで、発症してもある程度症状をコントロールできるようになりました。

それだけに、HIVに感染したら、すぐに医療機関を受診し、きちんと服用を続けることが大切です。パートナーにうつしている場合もあるので、相手にも検査をすすめ、感染していたら一緒に治療しましょう。

ANSWER

完治はしません。ただし、発症を遅らせることができます。

自分のため、パートナーのためにも検査を受けましょう

HIV(エイズ)検査は保健所なら無料で受けられるので、気軽に相談してみましょう。検査は、事前の相談と、約5mlの採血、結果説明(事後の相談)で終わります。受ける時期は、心当たりのある行為から3カ月後以降がおすすめです。感染後、血液中に抗体ができるまでに6〜8週間かかるからです。検査は匿名で受けられ、結果は本人のみに伝えられます。

検査目的の献血はダメ!

献血しても、献血者には感染の有無は知らされないので、HIV検査をしたことにはなりません。感染した血液が輸血されて、人にうつす恐れもあるので、絶対にやめましょう。

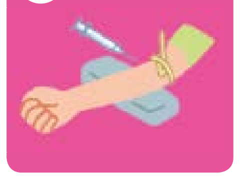
保健所での検査の流れ

1 検査日時を確認

電話やホームページで、検査できる日時を確認する。予約が必要な場合もあるが、匿名でかまわない。

→

2 検査当日



受付、検査前相談をしたあと、採血(約5ml)を行う。

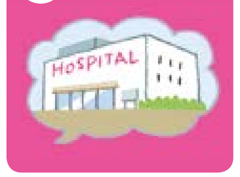
→

3 1〜2週間後 結果説明

1〜2週間後、指定日に本人が直接聞きに行く。電話や郵便で伝えられることはなく、代理人に知らせることもない。

→

4 陽性の場合



適切な医療機関を紹介してくれる。

結果が当日わかる場合

即日検査を行っている保健所では、陰性の場合に限り、その日に結果がわかる。陰性でなかった場合は、確認検査を受け、1〜2週間後に結果を聞きに行く。

Q8 HIV感染症以外の性感染症(STI)も増えている?

最近、HIV感染症以外の性感染症(STI)も若い世代を中心に多く、問題になっています。放っておくと、症状が悪化するうえ、不妊症になったり、妊娠・出産時に母子感染する恐れがあります。感染に気づかずパートナーにうつしてしまう場合もあります。また、性器の粘膜の炎症などからHIVに感染しやすくなります。性感染症は自然に治らないため、早めの検査と治療が必要です。感染しているときは、パートナーに検査をすすめることも欠かせません。

最良の予防法はコンドーム B型肝炎の場合はワクチン

エイズ同様、コンドームを正しく使うセーファーセックスが有効です。避妊薬のピルでは予防できません。B型肝炎に関しては、ワクチンを接種することで予防できます。

ピンポン感染にご用心

完治しても、感染しているパートナーとセックスすることで、また感染してしまう…。このように繰り返し感染し合うことを「ピンポン感染」といいます。ピンポン感染を防ぐためには、検査や治療をパートナーと一緒に行うことが欠かせません。

HIV感染症以外の主な**性感染症**

性感染症	症状
●性器クラミジア感染症 ●淋菌感染症 ●トリコモナス症	(男性)▶排尿時に痛みを感じる。ペニスから膿が出る。 (女性)▶症状が出にくいが、おりものが増加したり、下腹部が痛むことがある。
●性器ヘルペス感染症	(男性)▶性器に米粒大の水ぶくれができて、かゆく、つぶれると痛む。 (女性)▶性器に潰瘍や水ぶくれができる。初期には激しい痛みを伴う38度以上の発熱がある。再発しやすい。
●尖圭コンジローマ	(男女)▶性器にかゆみを感じることがある。先の尖ったカリフラワーのようなイボがたくさんできる。
●梅毒	(男女)▶性器に大豆大のしこりができ、約3カ月で全身に発疹などの症状が現れる。
●B型肝炎	(男女)▶だるい、食欲不振などの症状に、発熱、黄疸などを伴うことがある。

ANSWER

最近、若い世代に増えています。

[エイズ便利帳]

電話で相談したい

(公財)エイズ予防財団

0120-177-812

携帯電話からは

03-5259-1815

月曜日～金曜日
(年末年始・祝日を除く)
10時～13時/14時～17時

ホームページで調べたい

● **エイズ予防情報ネット(API-Net)**
http://api-net.jfap.or.jp/

● HIV検査相談マップ
HIV検査・相談窓口情報サイト
http://www.hivkensa.com/

● HIVマップ
すぐに役立つHIVの総合情報サイト
http://www.hiv-map.net/

レッドリボン

シンボルの「レッドリボン」には、「エイズに偏見をもっていない」「エイズとともに生きる人々を差別しない」というメッセージが込められています。

©株式会社社会保険出版社
禁無断転載43586
13F
UD FONT
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
グリーン購入法適合印刷物です